

平成 23 年 11 月 4 日

受益者の皆様へ

T&D アセットマネジメント株式会社

欧米株式市場の下落と「T & Dワールドコモディティ株投資1106 (限定通貨選択 - 米州大陸通貨 -)」への影響について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

欧米株式市場の足許の市場動向と「T & Dワールドコモディティ株投資1106(限定通貨選択 - 米州大陸通貨 -)」への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

足許の市場動向

11月1日の欧米株式市場は大幅に下落しました。

この欧米株式市場の下落は、10月27日にEUが合意したギリシャ向け第2次金融支援策に関して31日にギリシャのパパンドレウ首相が予想外に国民投票を行うと表明したために欧州債務問題に対する懸念が再燃したこと、米国で11月1日に発表された10月のISM製造業景況指数が50.8となり、前月の51.6から低下した上に事前の予想値を下回ったことなどが背景として考えられます。セクター別では欧州債務問題に対する懸念から金融株が大きく下落しましたが、市場のセンチメントが悪化する中、コモディティ市場も軟調に推移し、当ファンドの組入れ銘柄の多くが属しているエネルギー関連株も大きく下落しました。

これらを受けて、当ファンドのポートフォリオにおいても全保有銘柄が下落する展開となりましたが、その他にブラジルレアルのヘッジ買いポジションもマイナス要因となりました。ブラジルレアルが弱含んだ背景としては、1日に発表されたブラジルの9月鉱工業生産が対前月比-2.0%と予想を上回る下落幅となったことなどが挙げられます。

今後の見通し

今後の見通しとしては、欧州債務問題に対する懸念が再燃していることもあり、足許の株式市場やコモディティ市場などのリスク資産全般について不透明な展開を予想しております。しかし中長期的には、新興国などの力強い経済成長を背景にコモディティ市場の需給逼迫によりコモディティ価格の上昇をメインシナリオとしていることに変わりはなく、関連する株式の価格上昇の享受を目指して、現在のポートフォリオ運用を継続いたします。

当社ファンドへの影響

ファンド名	平成 23 年 11 月 1 日 基準価額 (円)	平成 23 年 11 月 2 日 基準価額 (円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
T & Dワールドコモディティ株投資1106 (限定通貨選択 - 米州大陸通貨 -)	8,613	8,172	441	5.12

市況情報

(小数点第 2 位以下四捨五入)

	平成 23 年 10 月 31 日	平成 23 年 11 月 1 日	騰落率 (%)
S & P G S C I コモディティ インデックス (エクセスリターン)	477.61	472.99	0.97

海外の市場については基準価額への影響を考慮し、10月31日から11月1日としています。

	平成 23 年 11 月 1 日	平成 23 年 11 月 2 日	騰落率 (%)
カナダドル(*1)	78.38	76.61	2.26
メキシコペソ(*2)	5.85	5.74	1.88
ブラジルリアル(*3)	45.26	44.51	1.65

(*1) 為替レートは三菱東京 UFJ 銀行の対顧客公示相場の仲値(TTM)

(*2) 為替レートはゴールドマンサックス証券の対顧客公示相場の仲値

(*3) ブラジルリアルの為替レートは、前NY営業日のNY16:00 頃のNDFレート(リアル/米ドル)と当日のTTM(米ドル/円)とのクロスレートを表示しています。

出所: ブルームバーグ

文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。海外市場のデータは基準価額への反映を考慮して1営業日前のものを使用しています。

ご留意いただきたい事項

- ◆ 本資料は受益者の皆様に T&D アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載した情報は、当資料作成時点におけるものであり、将来の運用成果を予想あるいは保証するものではありません。
- ◆ 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- ◆ 投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。
- ◆ 運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。